

**申込みに当たって（チェック用紙） ※裏面も記入**

申込者 氏名 \_\_\_\_\_



\*この用紙は受付窓口にて確認をしますので、必ず全ての項目のチェック欄に「○」又は「該当なし」を記入していることを確認したうえで、申込書と一緒に提出してください。

**1 『耐震診断対象』の確認**

NO	内容	チェック欄
1	昭和25年以前に建築されている。	
2	伝統的軸組構法（京町家）である。※1	
3	木造一戸建て又は長屋建てである。	
4	平屋又は2階建てで、延床面積が500平方メートル以下の住宅である。 （併用住宅の場合、住宅部分が延床面積の1/2以上を占めている。）	
5	増築している場合、増築部分の面積は、既存部分の1/5を超えていない。	
6	現在、居住している又は居住予定である。（平成 年 月 予定）	
7	文化財の指定又は登録を受けていない。※2	
8	建物の耐震改修（補強）はまだ終わっていない。	
9	京都市の耐震診断を受けるのは今回が初めてである。	

※1：不明の場合は、お問い合わせください。診断手法の適用ができない場合等、建物の構造によっては申込みをお断りする場合があります。

※2：文化財保護法に基づく文化財の指定又は登録を受けているものは、本事業の対象外です。

**2 『申込書類』の確認**

NO	内容	チェック欄
1	申込者は建築物の所有者ですか。	
2	「派遣申込書」に捺印しましたか。	
3	「派遣申込書」に連絡が取れる電話番号を記入しましたか。	
4	長屋建て（隣家と壁や屋根を共有するもの）の場合、所有者全員の「派遣同意書」がありますか。	
5	借家の場合、借家人全員の「派遣同意書」がありますか。	
6	付近見取図（住宅の所在地がわかる住宅地図等）がありますか。	
7	略平面図（縮尺 1/100 程度で間取りがわかるもの）がありますか。 ※3	
8	増築している場合、上記平面図に増築部分が記されていますか。	
9	建物の外観写真及び内観写真は台紙に貼り付けましたか。	
10	登記事項証明書（建物）がありますか。 ※4	

※3：建築時の図面がある場合は、コピーして提出してください。無い場合は、柱、壁等がわかる程度の間取り図を手書きで作成してください。

※4：登記事項証明書（建物）が法務局で取得できない場合は、申込先に相談してください。



**裏へ**

## 改修等履歴

過去に行った主な改修・増築について、実施した時期及び概要を記入してください。

実施時期	概要
記入例 昭和30年頃	裏に風呂，便所約10㎡を増築。
昭和40年頃	1階通り庭部分に床をはった。屋根全体を葺き替えた。
年	
年	
年	
年	
年	
年	

※ 過去に改修・増築の実施がなければ「該当なし」とご回答ください。

(実施したか不明な場合は「不明」と記入ください。)